



持続可能な山の暮らしを考える 土佐塩の道 SDGs勉強会



古道「塩の道」が通る沿線地域の多様な暮らしを背景に、地域の課題解決をSDGsの視点からとらえ、持続可能な社会と山の暮らしの目標を作る4回シリーズのウォーク体験付き勉強会です

第2回

塩の道ウォーキングと携行食づくり体験

約1時間、5km程度のゆったりウォーキングです。

テーマ

体験しよう持続可能な山の暮らし。古道を歩き、当時の携行食を作ってみよう（火起こしや味噌玉作りの体験）



日時

10月31日（土）9:00～受付

9:30 開始 15:30 終了予定

参加費

2000円（竹べんとう、携行食材料、ガイド、保険代込）

定員

20名（予約制）10/28〆切

※感染症予防対策を講じた上で開催いたします

場所

香美市物部町庄谷相集会所（国道195号沿い
香美市市営バス府内バス停、府内簡易郵便局を南入る）



SDGsとは？

2030年までに達成すべきとされた、アジェンダ（国際的な課題）の中核をなす17の持続可能な開発目標のSustainable Development Goalsの略です。持続可能な開発とは、長期にわたり豊かさを維持することができる開発のことです。

このSDGsは193の国際連合の加盟国、全てが賛成した上で可決されたものであり、全世界で必要とされていることが確実な開発目標です。



●スケジュール

庄谷相集会所集合 → 携行食づくり体験 → ウォーク開始
9:00 9:40頃 9:50頃

黒見公園で火起こし体験と味噌汁づくり・昼食 → ウォーク
11:20～13:00頃 13:00

→ 庄谷相集会所にて振り返り・アンケート記入後解散
15:30頃

※時間は目安です。多少前後する場合があります。

●今後の予定

第3回 11月7日（土）10:00～12:30

持続可能な山の暮らしを考えるワークショップ

（未来へつなぐ山の暮らし）

参加費 500円



©おかもとあつし

●土佐塩の道

今から約400年前、香南市赤岡町で採れた塩を香美市物部町の奥地まで運んでいた「塩の道」は、生活物資も運ばれた重要な産業道でした。時代とともに廃れた道を、平成14年地元の有志たちがウォーキング道として再生しました。時の流れと先人たちの営みを感じることができる土佐塩の道は、美しい日本の歩きたくなるみち500選、新日本歩く道紀行文化の道100選、文化庁歴史の道100選、香美市有形文化財に認定されています。

お申し込み・お問い合わせ先

【電話】 090-7622-1112

080-5088-8305

（担当：事務局 近藤・萩野）

【e-mail】 tosashionomichi@gmail.com



土佐塩の道FB



塩の道PV

主催 土佐塩の道保存会（公）高知県森と緑の会 こうち山の日推進事業